

2023年 9月 9日 日本学術会議近畿地区会議学術講演会

ジェンダー平等の実現に向けて 京都女子大学の挑戦

京都女子大学 学長

竹安栄子



1920年京都女子高等専門学校設立創基に尽力した3人の女性 男女平等社会を希求する思い

●大谷壽子

「男尊女卑は仏教の思想のやうに誤られてゐるが釈尊は決して男女に尊卑の差を置いてゐられない。仏陀は・・・
男女平等機会均等に扱はれたことは否定し得ない事実である。男性は婦人を或いは人形視し或いは奴隷視してすべての自由を束縛して来たがこれは時代を解しない人達の誤った考へからである。然しかやうな誤った婦人観の生れるのも一面**婦人自身に欠点の**ることは**引込主義で男性の横暴を甘受してゐることにも起因する**」
(1925年『婦人』)



大谷壽子・九條武子の欧州視察 女性参政権運動との接点

大谷壽子・九條武子は、女教育の視察のため1910年、ロンドン・ハイパーク近くにアパートを借りて滞在する。当時、英国では女性参政権運動団体「女性社会政治同盟WSPU」の活動が過激な様相を帯びてきていた。

リーダーの女性たちが豊かな学識をもって発言し、全国規模の活動団体を組織して行動する姿に感銘を受ける。



紫・白・緑色の旗を掲げDorothy Radcliffe
(1908年 ハイパーク)



2020年 教育理念「ジェンダー平等の実現に貢献する女性の養成」

第2次 グランドビジョン (長期目標) 2020-2029

- 01 ジェンダー平等の実現に貢献できる女性を養成します。
- 02 教育、研究の両面において、SDGsの達成に貢献します。
- 03 多様な学生が集まり、多様な価値の中で、生涯学び続けることのできる大学を目指します。
- 04 世界の大学と連携して、人類に資する研究を推進します。
- 05 時代の変化に合わせて新たな価値を創造する大学を目指します。

3. 日本のジェンダー格差の現状

ジェンダーギャップ指数

125位

東アジア・太平洋州で
最下位



■ ジェンダーギャップ指数

Gender Gap Index (GGI)

経済分野、教育分野、政治分野、保健分野における男女格差

実施：世界経済フォーラム

2015年 第106位 (145ヶ国中)

2021年 第120位 (156ヶ国中)

2022年 第116位 (146ヶ国中)

2023年 第125位 (146ヶ国中)

	2023年	2022年	2021年	2011年
■健康領域	59位	63位	65位	1位
■教育領域	47位	1位	92位	80位
■経済領域	123位	121位	117位	100位
■政治領域	138位	139位	147位	101位

アフーマティブ・アクションとしての女子大学 京女SPIRITS

- ジェンダーギャップ報告書「ジェンダーギャップの解消に失敗」した国
- 社会構造のあらゆる領域に、根深くジェンダー規範が浸透している現実
- 教育の現場においても同様：目的的・意識的なジェンダー教育の必要性
 - ・ 女子は文系、理系女子は医・薬・看護
 - ・ 女性職（保育、小学校教員、管理栄養士）のための資格志向
- ジェンダー規範からの解放には、教育においても特別処置が重要
 - ・ アフーマティブ・アクションとしての女子大学の意義
 - ・ 社会構造に根深く組み込まれたジェンダー規範から自由な環境で、のびのびと行動し学ぶことによって、ジェンダー規範を乗り越え、社会に踏み出す力を養う。
 - ・ 女性の幸福に資する教育・研究（ジェンダー法学、データサイエンス）
- 大谷籌子の女子大学設立の熱情「京女Spirits（スピリッツ）」チャレンジする勇気と知性を伝えること

2024

KYOKO
JO

ご清聴ありがとうございました